

# 島嶼部クルーズの意義と魅力

カリブ海等クルーズ先進地域では、自然豊かな島嶼部において、クルーズ船社自らが投資を行い、寄港地開発を進めている事例もみられる。

これらの事例では、島嶼部の魅力を背景として、多様なアクティビティを提供することで、オリジナリティあふれる寄港地観光を形成している。

## 島嶼部クルーズの魅力

### 島嶼部の魅力

美しい海

豊かな自然

非日常性

地域とのふれ合い

### 多様なメニューの展開

マリンスポーツ

ビーチライフ

トレッキング・散策

地場産品・伝統工芸品の買物

郷土料理、地場産焼酎等の飲食

名所旧跡巡り

クルーズ会社投資

## 島嶼部クルーズの意義

### 住民の視点

雇用の増加・多様化

地元産品の販売増

所得の増加

居住環境・利便性の向上

国内外の観光客との交流

地域の活性化

### クルーズ会社の視点

新たなクルーズ需要・多様な寄港地観光の開拓

専用的な寄港が可能

リピーターの増加

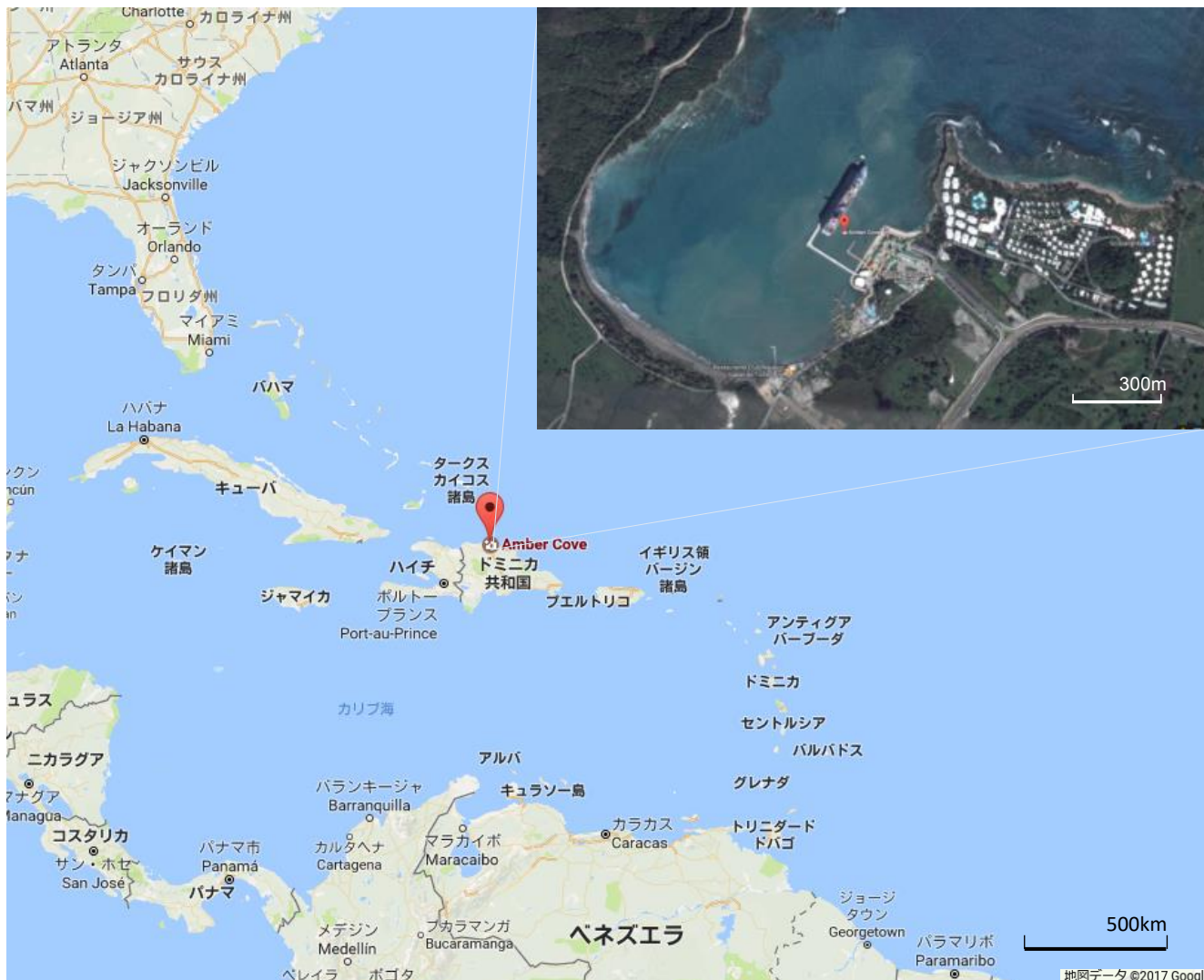
質の高い寄港地観光の実現

クルーズ業界全体の発展

訪日クルーズ500万人達成への寄与

# 海外事例①:ドミニカ共和国 プエルト・プラタ港

- プエルト・プラタ市 面積:509 km<sup>2</sup>、人口:28.7万人
- プエルト・プラタは、ドミニカ共和国の中でもリゾート地としての観光開発が盛んな土地
- カーニバル・コーポレーションが地元企業と提携して2015年に開発
- 周辺観光地と連携し40以上の豊富なエクスカージョンを提供
- 整備範囲 約0.1km<sup>2</sup> ○整備費用 約8,500万ドル(約95億円): 棧橋2バース、建物等
- 寄港回数 140回(23隻)(2016年) ○来訪客数 約25万人(2016年)
- 地元雇用 約430人



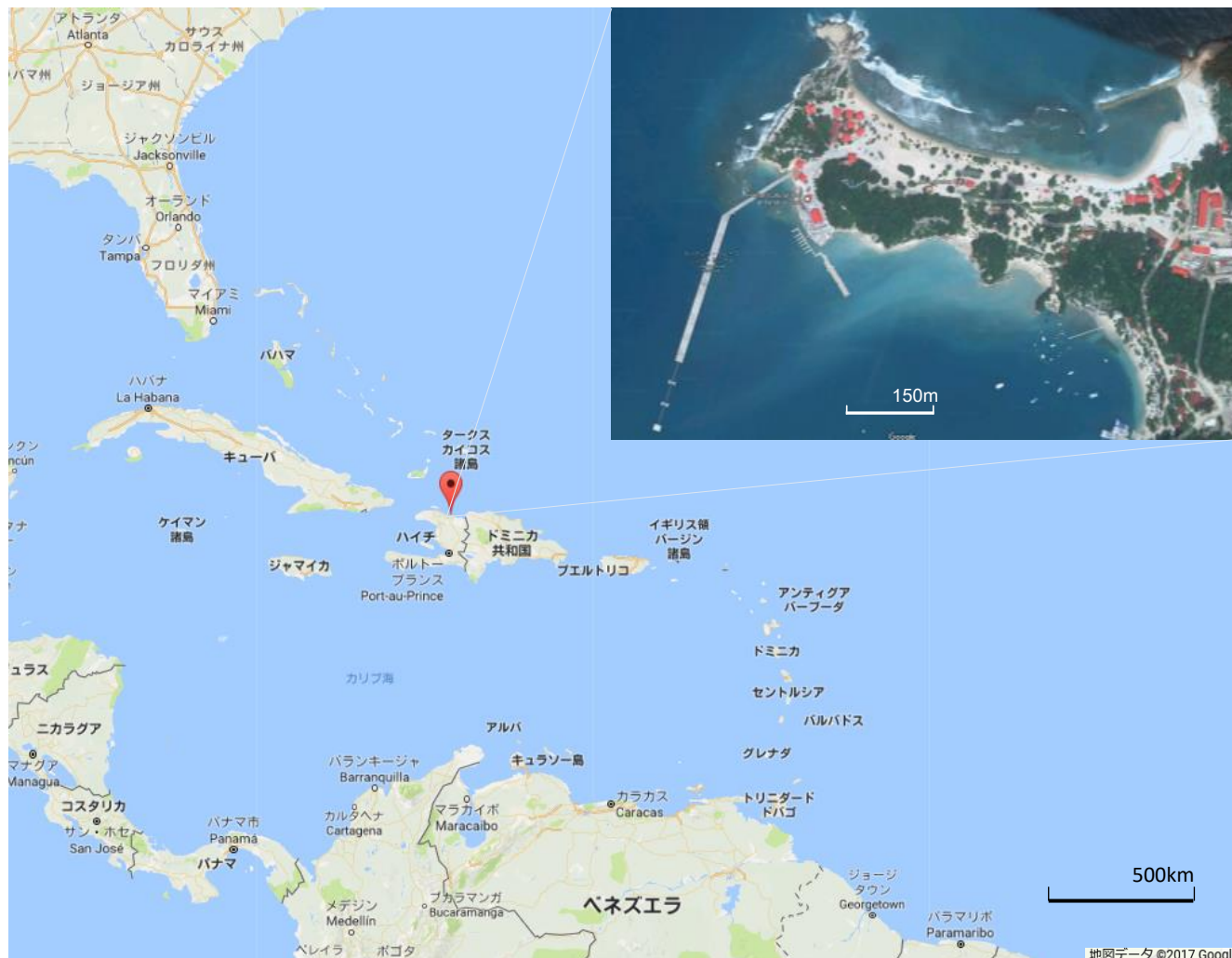
棧橋周辺



自然を体験するエクスカージョン

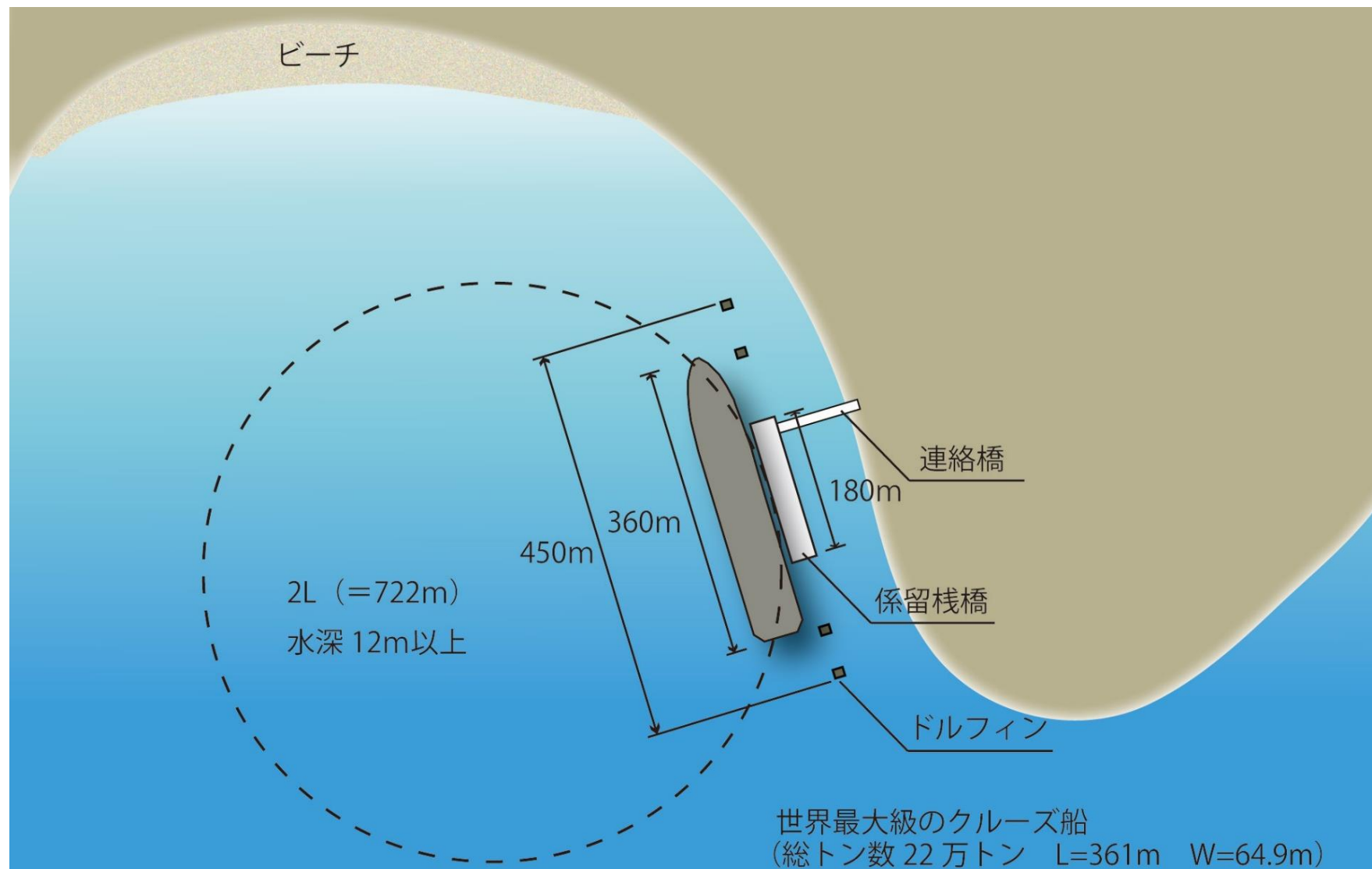
# 海外事例②:ハイチ共和国 ラバディ

- ハイチ共和国 ラバディ 人口:19万人
- ロイヤルカリビアン・インターナショナルがハイチ政府と賃貸借契約し、1986年に開発
- 当初、30年間の賃貸借期間を2050年までに延長
- 整備範囲 約0.4km<sup>2</sup>(100エーカー)、賃貸した土地 約1.05km<sup>2</sup>(260エーカー)
- 整備費用 1億ドル以上(約110億円):棧橋、建物、アトラクション等
- 寄港回数 160回(12隻)(2017年予定)
- 現地雇用 当初260人、後に、土産物店、現地ツアー、民族舞踊等の雇用が発生し、計660名



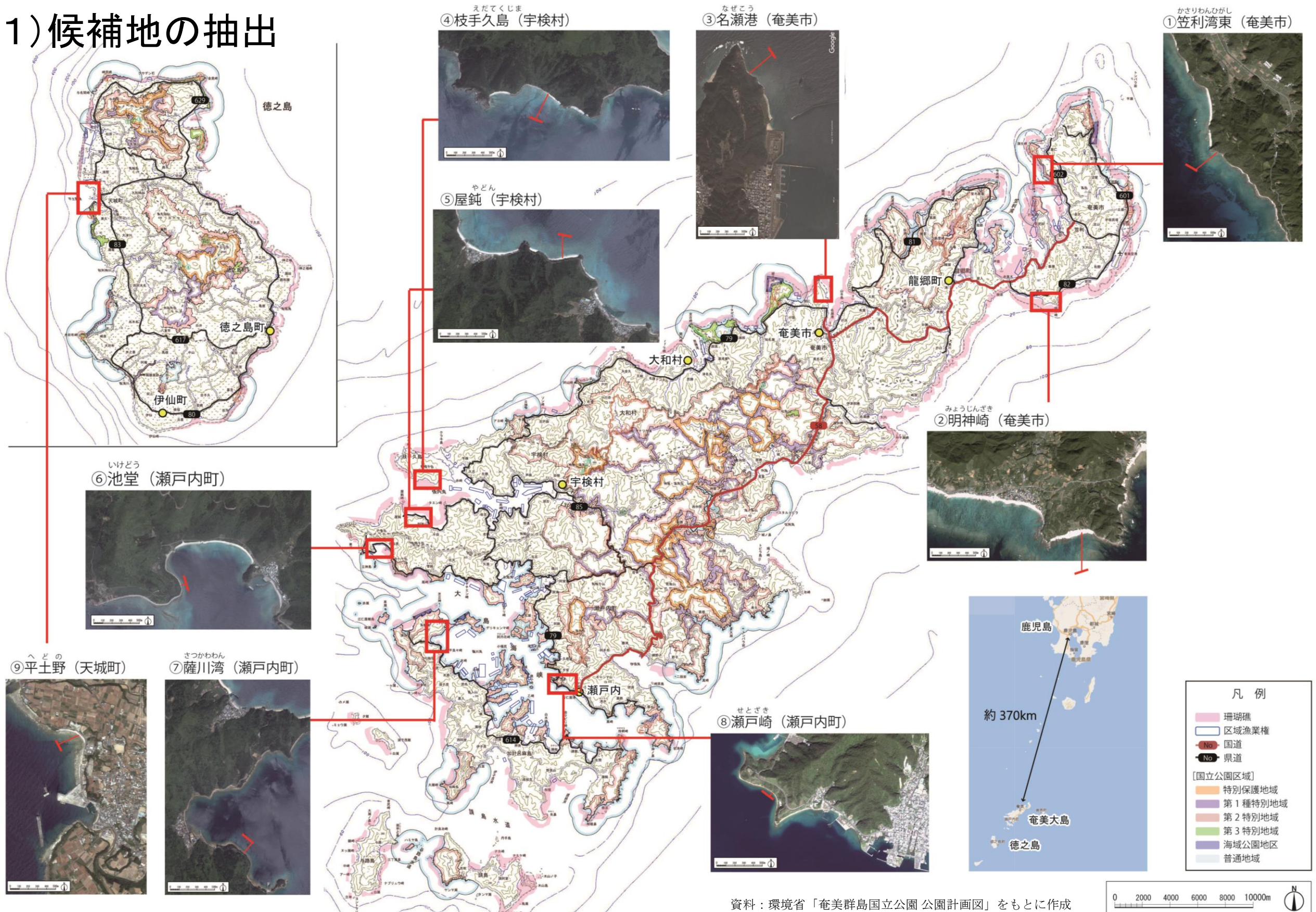
# 寄港候補地の条件

- ① 係留施設の設置水深が12m以上であること
- ② 水深12m以上でクルーズ船の回頭域(直径722mの円。最大のクルーズ船を想定。)を確保できること
- ③ 静穏度のよい場所であること
- ④ 養殖場がないなど漁業への影響が軽微であること
- ⑤ 珊瑚礁がないなど環境への負荷が小さいこと
- ⑥ 近くに一定のビーチがあるなど観光資源があること



# 奄美大島・徳之島における寄港候補地

## (1) 候補地の抽出



# 奄美大島・徳之島における寄港候補地

## (2) 候補地の評価

	①笠利湾東 (奄美市)	②明神崎 (奄美市)	③名瀬港 (奄美市)	④枝手久島	⑤屋鈍 (宇検村)	
<p>整備候補地</p> <p>※栈橋整備条件                      栈橋水深 12m                      栈橋延長 180m                      回頭円 360×2=720m</p> <p>水深-10m以浅                      ビーチ                      珊瑚礁                      区域漁業権                      No 国道                      No 県道                      一般道路                      要整備道路                      [国立公園区域]                      普通地域                      第2種特別地域</p>						
係留施設規模	【連絡橋】延長 350m、水深 0m~-12m 【栈橋】延長 180m、水深-12m~-20m	【連絡橋】 延長 500m、水深 0m~-20m 【栈橋】 延長 180m、水深-20m~-40m	【連絡橋】 延長 400m、水深 0m~-12m 【栈橋】 延長 180m、水深-12~-16m	【連絡橋】延長 350m、水深 0m~-20m 【栈橋】延長 180m、水深-20m~-40m	【連絡橋】延長 250m、水深 0m~-20m 【栈橋】延長 180m、水深-20m~-40m	
静穏度 (静穏度 90%以上月)	71.2% (5月)	28.4% (なし)	59.3% (なし)	88.1% (4月~10月)	78.1% (5月~8月)	
国立公園区域指定	【水域】普通地域 【陸域】第2種特別地域	【水域】なし 【陸域】なし	【水域】なし 【陸域】なし	【水域】なし 【陸域】なし	【水域】なし 【陸域】なし	
地域の自然への影響	珊瑚等環境	・約 200m 南側に塊状・被覆状珊瑚が分布。	・栈橋周囲に枝状・卓上珊瑚が分布。	・栈橋周囲に卓上珊瑚が分布。	・栈橋周囲に枝状・卓上珊瑚が分布。	・栈橋周囲に枝状珊瑚が分布。
	漁業 (養殖場等)	・栈橋付近にはない。	・周囲に養殖場はない。	・周囲に養殖場はない。	・栈橋付近にはない。	・周囲に養殖場はない。
クルーズ客にとっての魅力度	背後土地	・海岸沿いに平地はなく、森林に覆われた急峻な丘陵地 (勾配約 45%) である。	・海岸沿いには平地があり、周辺は緩やかな丘陵地 (勾配約 15%) である。	・海岸沿いに平地はなく、森林に覆われた急峻な丘陵地 (勾配約 35%) である。	・海岸沿いに平地はなく、森林に覆われた急峻な丘陵地 (勾配約 35%) である。	・海岸沿いに平地があり、周辺は緩やかな丘陵地 (勾配約 20%) である。
	道路等	・海岸沿いに道路はなく、海岸沿いに約 1km で県道 602 号線に繋がる。	・海岸沿いに道路はなく、海岸から約 700m で県道 82 号線に繋がる。	・背後に道路はなく、海岸沿いに約 1.2km で県道 79 号線に繋がる。	・島に渡る道路がない。	・海岸沿いに県道 79 号線がある。
消費地へのアクセス	奄美市街地まで、船で約 45 分。 奄美市街地まで、車で約 1 時間。	奄美市街地まで、車で約 1 時間。	奄美市街地まで、車で約 10 分。	奄美市街地まで、約 1 時間 30 分 (宇検漁港まで船で約 5 分、宇検漁港から車で約 1 時間 20 分)。	奄美市街地まで、車で約 1 時間 30 分。	
	周辺観光資源	・50m 北側に延長約 300m と 500m のビーチがある。	・栈橋の付け根周辺に約 600m のビーチがある。	・栈橋付け根に延長約 700m のビーチあり。	・栈橋付け根に約 800m のビーチあり。	・西側に屋鈍海水浴場がある。

資料: ①は、海上保安庁 日本近海海図 笠利湾(2万5千分の1)平成15年2月27日刊行 海図番号W245をもとに作成  
 ②は、国土地理院 電子地形図25000 奄美空港422955 平成29年3月23日発行をもとに作成  
 ③は、海上保安庁 日本近海海図 名瀬港(1万分の1)平成15年3月13日刊行 海図番号W1202をもとに作成  
 ④、⑤は、海上保安庁 日本近海海図 焼内湾及び付近(2万分の1)平成14年2月21日刊行 海図番号W246をもとに作成

# 奄美大島・徳之島における寄港候補地

## (3) 候補地の評価

	⑥池堂 (瀬戸内町)	⑦薩川湾 (瀬戸内町)	⑧瀬戸崎 (瀬戸内町)	⑨平土野 (天城町)	
<p>整備候補地</p> <p>※栈橋整備条件                      栈橋水深 12m                      栈橋延長 180m                      回頭円 360×2=720m</p> <p>水深-10m 以浅                      (名瀬港のみ-5m 以浅)</p> <p>ビーチ</p> <p>珊瑚礁</p> <p>区域漁業権</p> <p>国道</p> <p>県道</p> <p>一般道路</p> <p>要整備道路</p> <p>[国立公園区域]</p> <p>海域公園地区</p> <p>普通地域</p> <p>第2種特別地域</p>					
係留施設規模	【連絡橋】延長 60m、水深 0m~-12m 【栈橋】延長 180m、水深-12m~-20m	【連絡橋】 延長 160m、水深 0m~-12m 【栈橋】 延長 180m、水深-12m~-20m	【連絡橋】 延長 20m、水深 0m~-12m 【栈橋】 延長 180m、水深-12m~-20m	【連絡橋】 延長 300m、水深 0m~-12m 【栈橋】 延長 180m、水深-12m~-36m	
静穏度 (静穏度 90%以上月)	99.5% (1月~12月)	99.7% (1月~12月)	98.9% (1月~12月)	65.8% (なし)	
国立公園区域指定	【水域】なし 【陸域】なし	【水域】普通地域 【陸域】なし	【水域】普通地域 【陸域】第2種特別地域	【水域】なし 【陸域】なし	
地域の自然への影響	珊瑚等環境	・栈橋付近にはない。	・約 100m 西側に枝状珊瑚が分布。	・栈橋付近にはない。	
	漁業 (養殖場等)	・周囲に養殖場はない。 ・第一種漁港区域である。	・栈橋付近にはない。	・周囲に養殖場はない。	
	背後土地	・海岸沿いに平地が広がり、森林に覆われた丘陵地(勾配約 30%)である。	・海岸沿いに平地は少なく、森林に覆われた丘陵地(勾配約 25%)である。	・海岸沿いに平地はなく、森林に覆われた丘陵地(勾配約 25%)である。	・海岸沿いには平地が多い。
クルーズ客にとっての魅力度	道路等	・海岸沿いに道路はなく、海岸から 200m ほどで県道 627 号線に繋がる。	・海岸沿いに県道 614 号線がある。 ・瀬武集落に海上タクシー乗場がある。	・海岸沿いに道路はなく、海岸から 100m ほどで県道 79 号線に繋がる。	
	消費地へのアクセス	・奄美市街地まで、車で約 2 時間。 ・古仁屋市街地まで、車で約 1 時間 10 分。	・奄美市街地まで、約 2 時間。 ・古仁屋市街地まで、船で 30 分。	・奄美市街地まで、車で約 1 時間。 ・古仁屋市街地まで、車で約 10 分。	・奄美市街地まで、フェリーで約 5 時間。 ・平土野市街地まで、車で約 10 分。
	周辺観光資源	・栈橋付け根周辺に約 2km のビーチがある。	・約 100m 南側に延長 300m のビーチがある。	・栈橋付け根周辺に約 600m のビーチあり。	・栈橋付け根北側に延長約 400m のビーチがある。

資料:⑥⑦⑧は、海上保安庁 日本近海海図 奄美大島海峡(3万分の1)平成21年9月10日刊行 海図番号W230をもとに作成  
 ⑨は、国土地理院 電子地形図25000 平土野412857 平成29年2月3日発行をもとに作成